

GiANTLASH

高強度ポリエステル系製 ワンウェイラッシング資材
ジャイアントラッシュ ラッシングソリューションズ

システム破断強度は 540kgf (529 daN) から 10,204kgf (10,000daN)
システム毎にIMO（国際海事機関）にて規定される破断強度テスト証明書を完備しています。



安全性

ポリエステル系製ベルトで安全作業、大切な貨物にも優しく清潔です。
作業者の安全を確保、貨物のダメージも大幅に削減します。

作業性

ベルトは軽量・柔軟で簡単作業、増し締めも行えます。
専用締め機で簡単操作、無駄を省いて作業を効率化できます。

信頼性

弾性に富んだベルトは振動や衝撃に強く、専用バックルとの組み合わせで
貨物を確実に結束します。

安全にご利用いただくために安全講習会、デモンストレーション等も行っています。
ご不明な点がございましたら商品を購入された販売店までお気軽にお問い合わせください。

販売元 ジャイアント株式会社

番号	品番	品名	システム破断強度	入り数
コンポジットストラップ（軽量/中量物に適したコーティングバンド） 高強度ポリエステル糸を並べコーティングした弾性に優れるバンド 固い質感で直進性に優れる				
①	GCS13	バンド 13mm幅	540 kgf (529 daN)	1100m x 2巻
	GB13	バックル 13mm用		1000個
②	GCS16	バンド 16mm幅	720 kgf (706 daN)	850m x 2巻
	GB16	バックル 16mm用		1000個
③	GCS19	バンド 19mm幅	960 kgf (941 daN)	500m x 2巻
	GB19	バックル 19mm用		1000個
④	GCS25	バンド 25mm幅	1300 kgf (1274 daN)	500m x 2巻
	GB25	バックル 25mm用		500個
⑤	GCS32	バンド 32mm幅	2346 kgf (2300 daN)	300m x 2巻
	GB32	バックル 32mm用		300個
ウーブンストラップ（軽量/中量物に適した織りバンド） 高強度ポリエステル糸を編んだ伸長率を抑えたバンド 柔軟な質感でより自由な結束が可能				
⑥	GWS16	バンド 16mm幅	714 kgf (700 daN)	850m x 2巻
	GBF16	バックル 16mm用		1000個
⑦	GWS19	バンド 19mm幅	1122 kgf (1100 daN)	500m x 2巻
	GBF19	バックル 19mm用		1000個
⑧	GWS25	バンド 25mm幅	1836 kgf (1800 daN)	500m x 2巻
	GBF25	バックル 25mm用		180個 x 2箱
ウーブンラッシング（重量物に適した織りベルト） 高強度ポリエステル糸で編んだ破断強度を印字したラッシングバンド 重量物のラッシングに最適				
⑨	GLW30	バンド 32mm幅	2346 kgf (2300 daN)	250m / 袋
	GLB30	バックル 32mm用	4081 kgf (4000 daN)	80個
	GLH30	フック 32mm用	2040 kgf (2000 daN)	60個
⑩	GLW40	バンド 40mm幅	5102 kgf (5000 daN)	200m / 袋
	GLB40	バックル 40mm用	8673 kgf (8500 daN)	40個
	GLH40	フック 40mm用	3673 kgf (3600 daN)	40個
⑪	GLW50	バンド 50mm幅	6632 kgf (6500 daN)	200m / 袋
	GLB50	バックル 50mm用	10204 kgf (10000daN)	40個

- 予告なしに製品の使用を変更する場合がございます。
 - 上記システム破断強度数値は実測値であり保証値ではありません。

小型締め機：STT-25(①-④, ⑥-⑧)

中型締め機：STT-40(①-⑤, ⑨)

大型締め機：R-50XXL(⑤, ⑨-⑪)



製品重量：1.34 kgs
 対応幅：10 - 25 mm
 対応厚み：0.8 - 1.2 mm

ウーブンストラップ対応



製品重量：2.5 kgs
 対応幅：40 mm 迄
 対応厚み：1.2 - 2.0 mm



製品重量：4.05 kgs
 対応幅：50 mm 迄
 対応厚み：1.0 - 3.0 mm

ジャイアントラッシュ取扱注意点

ジャイアントラッシュはシステム毎に破断強度テスト報告書を完備していますが

実際の使用環境によりシステム強度は異なります。※**カタログ記載の規定強度は保証値ではありません。**

また、安全に作業を行う為 安全管理責任者は全ての作業員に対し以下注意点の周知徹底を図って下さい。

1. ワイヤーバックルには向きがある。

ワイヤーバックル側面のワイヤーがクロスしている側に締め機をセットする様（締め機から見てツノが常に右側を向く様）バックルをセットします。

ワイヤーバックルには〈つぶれ易い＝バンドを固定する側〉と〈反発が大きい＝バンド巻取り側〉があります。

万が一 逆方向にバンドの引締めを行った場合、ふさわしい引締めを得る前にバックルが閉じてしまいます。

結果として“バンドの緩み”や“バンドの破損”等、重大な事故につながる危険があります。

2. バックルの位置決め。

バックルは、底面が常に直線になる位置にセットします。

貨物のカド付近や山なりの貨物に接触している等、バンドをセットしたバックル底面が直線を維持できない場合、バンド同士充分な摩擦が得られず簡単にバンドが緩みます。

万が一 バックル底面より下方に角度がある場合、輸送中の振動等によりバンドが緩み重大な事故につながる危険があります。

3. バックル、バンド取代（とりしろ）。

バックルにバンドをセットする際、また引締め後バンドを切断する際、バックルより最低 20cm 位のバンド取代を確保する事をお奨めします。

また、増し締めを行う場合は特に長めにバンド取代を用意します。

作業に慣れるまで、締め機カッターにバンドを通さずに作業する事を推奨しています。

万が一充分なバンド取代がなく、バンドの引締めが適切でない場合、バックルがバンドを保持できずバンドが緩み重大な事故につながる危険があります。

4. 鋭角の対応。

鋭利なカドがある場合、必ずウェスや角当て等保護材を置きバンドをかけて下さい。

手で押して痛みを感じる様なカド、バリがでている様なカドにはバンドを接触させないで下さい。

バンドが破損し重大な事故につながる危険があります。

5. バンドのセット。

箱物等にバンドをセットする際、カド部で絶対にバンド同士が重ならない様セットします。

また、バックルを起点に箱カドのポイントが同数になる様振り分けて下さい。

バンドが、カドや突起部にて重なった場合、上下バンドの引っ張られる方向が逆になる為、大きな摩擦抵抗が発生しバンドを十分に引き締める事ができません。

下側に通るバンドが緩んだままの状態になり、輸送中の振動等によりバンド全体が緩み重大な事故につながる危険があります。

ご不明な点がございましたら商品を購入された販売店までお気軽にお問い合わせ下さい。